

部活動地域移行に関する教職員アンケート回答結果（確定値）

令和5年2月

I. あなた自身について教えてください

問1 あなたの所属する学校名と職、性別、年代をそれぞれ次から選択してください

【小学校教職員】 回答者 366名

学校名、職、性別は未公表

○年代 20代 94名 (25.7%)、30代 70名 (19.1%)、40代 60名 (16.4%)、
50代 109名 (29.8%)、60代以上 33名 (9.0%)

【中学校教職員】 回答者 194名

学校名、職、性別は未公表

○年代 20代 39名 (20.1%)、30代 48名 (24.7%)、40代 40名 (20.6%)、
50代 54名 (27.8%)、60代以上 13名 (6.7%)

問2 あなたが現在、担当（顧問）している部活動は何ですか（中学校のみ）。

- 1 運動部 121名 (62.4%) 2 文化部 28名 (14.4%)
3 運動部と文化部の両方 1名 (0.5%) 4 担当していない 44名 (22.7%)

問3 担当（顧問）している部活動（省略）

問4 担当（顧問）している部活動における、あなたの指導状況等について、以下の

(1)～(3)にお答えください（中学校のみ）。

(1) 部活動の指導について

- 1 やりがいがある 54名 (30.5%)
2 どちらかというony やりがいがある 54名 (30.5%)、
3 どちらともいえない 44名 (24.9%)
4 どちらかというony やりがいは感じない 16名 (9.0%)
5 やりがいは感じない 9名 (5.1%)

(2) あなたが、部活動の顧問をしている中で、どのようなことを負担に感じますか(複数回答可)。

- 1 負担は感じていない 17名 (9.6%)
- 2 教材研究の時間がなくなること 81名 (45.5%)
- 3 勤務時間を超えて部活動があるので帰宅時間が遅くなること 116名 (65.2%)
- 4 休日の部活動の指導や大会の引率をすること 124名 (69.7%)
- 5 経験したことのないスポーツ・文化活動を指導すること 92名 (51.7%)
- 6 部費などの会計処理 56名 (31.5%)
- 7 他の顧問や生徒、保護者との人間関係 65名 (36.5%)
- 8 その他 17名 (9.6%)

(その他のおもな内容)

- ・負担感がない訳ではないが、部活がきっかけでこの教科の教員を目指し、趣味も兼ねてやっているのが当たり前だと感じている。
- ・休日に自分が取り組んでいるNPO活動に参加することができない。
- ・中体連の大会で審判をするために、自費で審判講習を受けないといけないこと
- ・中体連で審判講習会があるが、休日にあること
- ・中体連から中体連以外の大会の審判や練習会への参加のお願いがくること
- ・顧問を断りにくいこと(部活動顧問をするかどうかは希望性で良いと思う)
- ・過度なクレーム
- ・社会体育との関係

(3) 今、担当(顧問)している部活動の競技・活動経験、指導経験について

※ 部活動を担当していない場合は、3を選択してください。

- 1 学生の頃など、過去に一定期間の競技・活動経験がある部活動を指導している 78名 (42.9%)
- 2 もともと自身の競技・活動経験はない部活動を指導している 69名 (37.9%)
- 3 その他 35名 (19.2%)

問5 部活動について、教職員の働き方改革を進める上での問題((例)長時間労働の要因となっている等)が指摘されていますが、あなたは現在の部活動の在り方を変える必要があると思いますか(中学校のみ)。

- 1 とてもそう思う 100名 (51.5%)
- 2 まあそう思う 69名 (35.6%)
- 3 あまりそう思わない 15名 (7.7%)
- 4 全くそう思わない 10名 (5.2%)

II. 「部活動の地域移行」について考えをお聞かせください。

問6 「部活動の地域移行」について

(1) 「部活動の地域移行」について、あなたの意見に最も近いのは次のどれですか。

【小学校教職員】

- 1 “子供のスポーツ・文化環境”は、今後も、学校の部活動として提供していくべきである 20名 (5.5%)
- 2 まずは、休日の部活動から「地域移行」に取り組んでいくべきである 194名 (53.0%)
- 3 休日の部活動からではなく、平日も同時に地域へ移行していくべきである 149名 (40.7%)
- 4 その他 3名 (0.8%)

(その他のおもな内容)

- ・拙速な地域移行に取り組むことで、担当（講師）を学校が探すことになったり、その方の世話や仲介をすることになったりすると、学校の負担が減るどころか、増えることになりかねない。そのような事態にならないよう、注意しながら学校・児童生徒・地域がwin-winになるよう取り組んでいくべき。
- ・専門知識をもつ人材を確保できるか疑問
- ・各自治体によって実態が違う中での判断は難しい。
- ・内容によると思います。道場系はすでに部活動やスポーツ少年団と関わっていたり、吹奏楽なども連携されていたりすると思います。また、美術系だと、土、日は関係ない時もあると思います。

【中学校教職員】

- 1 “子供のスポーツ・文化環境”は、今後も、学校の部活動として提供していくべきである 27名 (13.9%)
- 2 まずは、休日の部活動から「地域移行」に取り組んでいくべきである 70名 (36.1%)
- 3 休日の部活動からではなく、平日も同時に地域へ移行していくべきである 77名 (39.7%)
- 4 その他 20名 (10.3%)

(その他のおもな内容)

- ・危惧するのは、地域移行が可能か、どんなリスクが考えられるか等しっかり議論して進めていかないと、結局は被害を被るのは子どもたちや家庭。また、活動場所が校内だと、結局教員が介入せざるを得ないことにつながり、かえって仕事が増える可能性もある。
- ・休日の部活動より、平日の部活動の方が負担が大きいため、平日の部活動の在り方を改善していく必要があると感じる

(2)「地域移行」に向けて、解決すべき最も大きな課題は何だと考えますか。

【小学校教職員】

- 1 生徒・保護者の理解 36名 (9.8%)
- 2 教員の理解 5名 (1.4%)
- 3 受け皿となる団体等の整備 59名 (16.1%)
- 4 人材（指導者・活動を運営する人など）の確保 215名 (58.7%)
- 5 活動場所の確保 3名 (0.8%)
- 6 大会の在り方 0名 (0%)
- 7 会費や保険 3名 (0.8%)

- 8 学習指導要領での部活動の位置付け 6名 (1.6%)
- 9 トラブルが起こった場合の責任の所在 33名 (9.0%)
- 10 その他 6名 (1.6%)

(その他のおもな内容)

- ・専門知識をもつ人材を確保できるか疑問
- ・教員、団体だけでなく保護者等の理解が得られにくいと考えたから。
- ・順位重視、結果に重きを置きすぎないことへの理解だと思えます。
- ・3・4・6・7・9のどれも大きな課題だと思う。
- ・上記の項目で一つに限定することは難しい。色々な課題・配慮事項があると思う。

【中学校教職員】

- 1 生徒・保護者の理解 11名 (5.7%)
- 2 教員の理解 7名 (3.6%)
- 3 受け皿となる団体等の整備 57名 (29.4%)
- 4 人材(指導者・活動を運営する人など)の確保 78名 (40.2%)
- 5 活動場所の確保 1名 (0.5%)
- 6 大会の在り方 6名 (3.1%)
- 7 会費や保険 2名 (1.0%)
- 8 学習指導要領での部活動の位置付け 3名 (1.5%)
- 9 トラブルが起こった場合の責任の所在 14名 (7.2%)
- 10 その他 15名 (7.7%)

(その他のおもな内容)

- ・上記、複数選択できないが、1～9まですべて懸念材料
- ・1つだけは選べない

(3) 休日の部活動が「地域移行」された場合、あなたの指導への関わりについて、どのよう
に考えますか。現在の気持ちをお聞かせください。(1以外を選択された方は、(7)に進
んでください。)

【中学校教職員】

- 1 兼職兼業の許可を得て、自身が指導に関わりたい 30名 (15.5%)
- 2 兼職兼業を行うつもりはない 116名 (59.8%)
- 3 兼職兼業を行うかどうか、悩んでいる 48名 (24.7%)

(3) 休日の部活動が「地域移行」された場合、あなたは、土日に自身の専門分野等を活か
して、地域の子供たちのスポーツや文化活動の指導に関わりたいと思いますか。(1以外を
選択された方は、(7)に進んでください。)

※「兼職兼業」の語句が小学校では浸透していないとの指摘があったため、表現を以下のとおりとした。

【小学校教職員】

- 1 関わりたい 27名 (7.4%)
- 2 関わりたくない 161名 (44.0%)

3 悩んでいる・分からない 178名 (48.6%)

(4) 上記(3)で「1 自身が指導に関わりたい」を選択された方はどこで指導したいと考えますか

【小学校教職員】

- 1 学校が所在する地域で指導したい 17名 (43.6%)
- 2 自身が居住する地域で指導したい 20名 (51.3%)
- 3 1、2以外のその他の地域等で指導したい 2名 (5.1%)

【中学校教職員】

- 1 学校が所在する地域で指導したい 32名 (76.2%)
- 2 自身が居住する地域で指導したい 8名 (19.0%)
- 3 1、2以外のその他の地域等で指導したい 2名 (4.8%)

(5) 上記(4)で「2 自身が居住する地域で指導したい」「3 1、2以外のその他の地域等で指導したい」を選択された方は、指導したいと考えている場所を具体的に教えてください。

【小学校教職員】

- 1 県外 0名 (0.0%)
- 2 県南の市町村 4名 (19.0%)
- 3 県北の津山市以外の市町村 17名 (81.0%)

【中学校教職員】

- 1 県外 0名 (0.0%)
- 2 県南の市町村 2名 (33.3%)
- 3 県北の津山市以外の市町村 4名 (66.7%)

(6) 上記(5)で「3 県北の津山市以外の市町村」を選択された方は、自治体名を教えてください。

【小学校教職員】

自治体名：美作市 1名 (5.9%)、真庭市 4名 (23.5%)、鏡野町 2名 (11.8%)、
美咲町 3名 (17.6%)、久米南町 4名 (23.5%)、勝央町 3名 (17.6%)

【中学校教職員】

自治体名：美作市 1名 (20.0%)、真庭市 2名 (40.0%)、美咲町 1名 (20.0%)
勝央町 1名 (20.0%)

(7) 上記(3)で、「2 兼職兼業を行うつもりはない」「3 兼職兼業を行うかどうか、

悩んでいる」を選択された方は、地域移行について何か不安や懸念がありますか。あれば、記述してください。なければ、無しとご回答ください。

【小学校教職員】

(おもな内容)

- ・人材確保に教職員が起用される可能性がある。
- ・教職員から人財を募るのであれば、根本的な問題の解決にならないのでは。
- ・トラブルがあった場合の責任の所在
- ・今でさえ、休日に仕事をしたり持ち帰って仕事をしたりしているので、さらに地域の部活…となると正直しんどいです。
- ・自身に指導できるスキルがないと考えるため、役に立つことがないと思ったからです。
- ・体調を考えると無理です
- ・自分自身は、今まで実際の指導経験がないため指導をすることは難しいと思う。地域移行はよいと思うが、多くの人は仕事をしながら指導に携わることになるため、指導者に対する費用弁償などがなくには難しいのではないかと思います。また、生徒が練習場所に出向くことにも課題があるように感じる。
- ・具体的なイメージが湧かない

【中学校教職員】

(おもな内容)

- ・運営の費用面や責任の所在はどこになるか不透明なので、不安しかない
- ・そもそも教職員ありきではない
- ・中途半端な地域移行が一番困る。(平日は教員、土日が地域など) 自分は居住地域のスポ少の指導者なので、そちらに専念したい。
- ・問題が起きた場合の責任の所在
- ・現任校で兼職兼業が許可され、やりたくない教員に同調圧力がかかり、やらざるをえなくなり、現状と何も変わらないことが予想される。さらに時間外勤務の管理から外れ、過労死をしても、本人が希望して部活動指導をやり、勝手に死んだという扱いにされる危険性がある。

問7 あなたの学校では、例えば部活動の縮小や他校との合同部活動など「部活動改革(部活動の在り方を改善する取組)」は進んでいますか。先生方の現状の受け止めをお答えください(中学校のみ)。

- 1 かなり進んでいると考える 1名(0.5%)
- 2 一部進んでいると考える 51名(26.3%)
- 3 校内で課題に上がることはあるが、具体的には進んでいない 91名(46.9%)
- 4 全く進んでおらず、校内で課題にも上がることがない 25名(12.9%)
- 5 分からない・知らない 26名(13.4%)

問8 あなたは、中学校体育連盟主催の大会や中学校吹奏楽連盟主催のコンクール等に地域のクラブチームや文化活動団体等が参加することになったとしたら、どのように思いますか(中学校のみ)。

- 1 参加者が増え、大会が盛り上がるので賛成 31名 (16.0%)
- 2 出場機会が増えるので賛成 59名 (30.4%)
- 3 学校対抗のままの方がよい 77名 (39.7%)
- 4 強いチームや団体が出てくる可能性があるから反対 27名 (13.9%)